

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会いたします。

まず、教育委員会の活動状況について、事務局から報告をお願いします。

山下教育政策課長。

○山下教育政策課長 それでは、教育委員会の活動状況についてご説明させていただきます。

教育委員会の活動状況、令和2年5月分をごらんください。

表にございますとおり、左からご活動の日時、会議、行事等、場所、出席者をお伝えしており、上段の5月1日の教育子育て部門会議を始め、5月中の活動内容を記載しております。詳細につきましては、資料のとおりでございます。

以上、簡単ではございますが、ご説明とさせていただきます。

○奈良教育長 続きまして、委員の活動について、所感の報告をしたいと思います。

それでは委員を代表して、神田委員から報告をお願いします。

○神田委員 それでは、私のほうから今月の所感を述べさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、臨時休業が小中学校は令和2年3月2日から5月31日まで続きましたが、6月1日から12日には分散登校、短縮授業による教育活動が実施されました。感染拡大防止策の徹底を図った上で、6月15日から通常の教育活動が再開されました。この長い期間、子どもたちはもちろんのこと、保護者の方々、学校の先生方や教育委員会事務局の方々のご苦勞は並大抵なことではなかったと思います。

さて、4月7日に緊急事態宣言が出てからは、新学期を迎えた児童生徒の皆さんの家庭学習の支援をどのように進めるのか。学校はもちろんのこと、教育委員会事務局も、国や府の動向を踏まえながら進めていただきました。

枚方市議会の6月定例月議会の一般質問が19日から24日まで、4日間にわたり、29人の議員さんの質問がありました。私は枚方市議会の質問及び答弁をネット配信される映像で視聴いたしました。

一番多かった質問は、新型コロナウイルス感染症対策についてでした。臨時休業中における家庭学習の支援のあり方、在宅している児童生徒や保護者への連絡の有無、児童生徒の居場所の運営などについての質問がありました。家庭学習については、学校からの課題について、教育委員会として明確な指示をしてもらいたいといった要望がありました。

毎月実施されています定例校長会の指示伝達のメモを実施後、教育委員会委員もいただいておりますが、それを見ますと、担当課から次のような指示伝達がされています。

5月12日の第2回校長会では、新型コロナウイルス感染症対策に係る対策についてということで、学校における臨時休業等の措置について取り上げられておりました。

1点目は、臨時休業中の家庭学習や生活習慣などの充実に向けた取り組みについて、4月28日付、事務連絡（重要）で通知済みを踏まえ、児童生徒の家庭学習や生活習慣などの充実を図ること。

2点目は、臨時休業期間中における学習指導等の充実に向け、ボックス、ファイル共有クラウ

ドサービスを効果的に活用していくこと（5月11日付け、事務連絡で通知済み）とあり、GIGAスクール構想を前倒しにし、小中学校教員、小学校5、6年生、中学校1、2、3年生にタブレット端末を1人1台配備することを議会で承認されたこと。また、当初、コンテンツを活用した具体的な取り組みについても指示伝達されています。

結果、積極的に取り組んだ学校もありましたが、学習コンテンツの活用が少ない学校のほうが多かったと伺っております。

原因の一つは、指示伝達の徹底ができていなかったこと。もう一つは、学校が紙媒体で課題を与えてきたので、この段階になって併用しながらの学習コンテンツに移行できなかったということのようです。

4月7日、緊急事態宣言が出されてから、4月8日から5月6日まで臨時休業期間となりました。児童生徒には新しい学年で習っていない学習内容になりますので、学校にはより明確な指示が必要であったと言えます。今後、新型コロナウイルス感染の第二波が大なり小なり来るだろうと言われております。この間の取り組みを詳細に検討し、第二波に備えていただきたいと思いません。

6月2日の教育委員会臨時会におきまして、枚方市立小中学校及び小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正しました。臨時休業期間中にできなかった授業時間数の確保のため、夏季休業日を8月8日から8月18日に、冬季休業日を12月26日から1月5日といたしました。夏季休業の短縮での学校や登下校については、熱中症等への対策が必要です。教育委員会は、熱中症対策の指針を策定される予定ですが、夏季休業の短縮中の教育活動については校長が的確に判断し、適切かつ柔軟に実施することも必要であると思えます。教育委員会と連携を密にし、指導助言もよろしくお願いいたします。

次に、ICT教育について述べたいと思えます。

枚方市教育委員会では、ICT教育を推進するため、8月末ごろから今年度中にかけて、市立小中学校の教職員や児童生徒に1人1台のタブレットパソコンが配備されます。そのことを踏まえ、その効果的な活用を図ることを目的に、小中学校教員と指導主事などで構成する情報教育推進ワーキングチームが立ち上がりました。このワーキングチームには各校1名の代表者64名と、教育指導課、教育研修課の指導主事が所属し、市内のすぐれた活用実践実習例を収集するとともに、全校に対し、情報発信を行っていきます。

6月12日、64名の各校代表者の中心となるコアメンバー16名の会議がありました。私たち教育委員4名も参加いたしました。ワーキングチームの趣旨や目的の説明、国が推進するGIGAスクール構想について解説するとともに、次回以降のオンライン会議を見据えて、タブレット端末を使った操作演習を行いました。情報教育ワーキングチームは、5月の教育委員会協議会や、6月の教育子育て委員協議会で提案のありました枚方市学校教育におけるICT活用の方針（案）の今後の取り組みの（2）教員のICTの活用力及び指導力の向上や、（3）のICTの活用推進の具体的な取り組みといえます。学校や家庭での効果的な利活用についてビジョンを示していただき、1人1台端末の活用によって、充実する学習にするため、個別学習や協働学習の指導について、具体的な指導について示していただけるものと期待しております。

日本では、ビジョンが弱いということがよく言われております。ビジョンを示して、具体的に示していただきたいと思っております。学校現場と教育委員会が一体となり、子どもたちの学びの充実に向けて、研究・実践を深めるとともに情報発信をお願いいたします。

話が前後しますが、5月28日の午後から、委員4名は総合教育部次長、中央図書館長にお世話いただき、新しくなったオープン前の香里ヶ丘図書館、香里ヶ丘公園のみどりの広場を視察いたしました。香里ヶ丘図書館長から利用施設の説明を受けました。図書館は、子育て広場、子ども広場、ティーンズ広場、健康広場というような各年代層に合わせて書架があり、温かい雰囲気的空間でした。新しい図書館や中央公園みどりの広場が周辺地域をつなぐ地域活性化の役割を果たすことを期待しております。

最後になりますが、学校園が再開されて2週間がたちます。大阪府教育庁の学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルや、文部科学省の通知などを加味して、教育委員会は学校再開に当たっての留意点を示しております。教科指導や給食、部活動、休み時間などの具体的な活動場面ごとの感染予防対策や、教職員の健康管理について、学校園と連携をとり、今後も引き続き適切な指導をよろしく願いいたしまして、所感といたします。

○奈良教育長 ありがとうございます。

それでは、本日の協議会の案件は以上となりますので、協議会を終了します。